

■ 目標値未達成の要因について

法人名 公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団

〔1〕

成果測定指標	単位	R4年度目標値	R4年度実績値	目標値との差
千里ライフサイエンスセミナー参加者数（各回平均） （リアル参加者数 + Web延べアクセス数）	人	644	638	△ 6

未達成の要因				要因分析（要因と考える根拠）						要因分析を踏まえた今後の対応
①	第4回開催セミナーの参加者数の減少			第4回を除く他の4回のセミナー参加者数は下は467人から上は947人であったが、第4回（R4年11月30日開催）だけ309人だった。この理由は、テーマが「脳の情報処理研究の最前線：神経コーディングやオシレーションを中心として」とニューロサイエンスの中でも特に専門的領域であり、一般的なアカデミア、研究者には、敷居が高いテーマであったため。						財団の使命は一般受けするテーマだけでなく、アカデミア、研究者にとって有益となる専門性の高いテーマも開催する必要があり、テーマ毎に専門性の高いもの、領域が狭い（ニッチ）ものなど大きく異なるので、テーマを踏まえて適切な目標を設定する。
	関連項目名	第4回参加者数	単位	人	R4当初想定値	644	R4実績値	309	差	
②										
	関連項目名		単位		R4当初想定値		R4実績値		差	
③										
	関連項目名		単位		R4当初想定値		R4実績値		差	

■ 目標値未達成の要因について

法人名 公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団

〔2〕

成果測定指標	単位	R4年度目標値	R4年度実績値	目標値との差
岸本基金研究助成応募件数	件	200	191	△ 9

未達成の要因				要因分析（要因と考える根拠）				要因分析を踏まえた今後の対応		
①	大阪大学からの応募件数の減少			大阪大学は、日本財団からの助成（今後10年間で230億円）、大学債（300億円分）、AMEDからの助成など研究資金が豊富であったことで、例年と比べ応募件数が減少した。						<p>全国のライフサイエンスを研究テーマとしている大学に幅広く応募要領を送付するなど積極的な周知を図るとともに、大阪大学については、直接、医学研究科長及び大学内の関係部署に研究助成の応募について連絡し、大学内での幅広い広報を依頼する。</p>
	関連項目名	大阪大学からの応募件数	単位	件	R4当初想定値	25	R4実績値	13	差	
②										
	関連項目名		単位		R4当初想定値		R4実績値		差	
③										
	関連項目名		単位		R4当初想定値		R4実績値		差	